

若者支援で地域豊かに

中間的就労フォーラム

若年者
支援機構
県

県若年者支援機構
(中野謙作理事長)主
催の中間的就労支援事
業特別フォーラムが28

日、宇都宮市駒生1丁
目のとちぎ青少年セン
ターで開かれた。

引きこもりなどで働
くのが困難な若年無業
者の支援や訓練の場と
して注目されている
「中間的就労」。一般
的な就労と福祉的就労
の中間に位置付けられ
ている。

フォーラムは「企業
の役割」をメインテー
マに、若者だけでなく、
企業にも社会貢献や人

材確保などでメリッ
トがある点を理解して
もらうのが狙い。

中間的就労支援事業
を導入している企業の
経営者らが出席したパ
ネルトークでは、「ジ
ョブトレイナー」と呼
ばれる指導管理者と若
者3人がチームとなり
依頼を受けた仕事を行
っている同機構の取り
組みへの評価が相次い
だ。

宇都宮市で「ろまん
ちつく村」を運営する
ファーマーズフォレス
トの松本謙社長は「当
初は二トや引きこも

りの若者に抵抗感があ
った。3年前に始めた
ころはうまく行かなか
ったが、(同機構の)
ノウハウの積み重ねで
今は120%の仕事をし
てもらっている。企
業にとってのデメリッ
トは全くない」と強調
した。

若者を取り巻く課題
について解説した放送
大学の宮本みち子教授
は「高度成長期とは違
って今は、建築や土木、
ものづくりの仕事が少
なく、労働市場が若者
を吸収できない。さら
に無業の若者の半数超

若者を支援する「中間的就労」の意義を訴え
るパネリストら＝28日午後、宇都宮市駒生1
丁目、とちぎ青少年センター



はいじめ体験などハン
ディを抱え、支援が差
しのべられず大人にな
っている」と指摘。中
間的就労の意義につい
て「仕事はコミュニテ
ィーの中にあり、掘り
起こすことが地域振興
策になる。問題を抱え
る若者を支援すること
は、地域全体を豊かに
することにつながる」と
訴えた。

(佐藤洋)